

# 海からの風 山からの風



## 尾道市民 音楽芸能祭 2021

会場 しまなみ交遊館

日程 10月30日(土) 11:00~  
(演奏系) 合唱部 合唱団新緑部 合唱団エコー フラダンス 社交ダンス

10月31日(日) 10:30~  
(演奏系) 合唱部 合唱団新緑部 合唱団エコー

主催/尾道市・尾道市文化協会

第39回 総合文化祭  
**尾道の美展** 2021

11/10(土) - 14(日)  
 時間 9:00-18:00(最終日は16:00まで)  
 尾道市民センターむかいしま



尾道市文化協会は、本年度で40周年の節目の年を迎えました。新型コロナウイルス感染症の影響で、何事も例年通りの開催とはなりませんでしたが、いくつかの行事は、皆様のご協力のもと、徹底した対策を行い、開催することができました。

長引く自粛生活の中で、より一層文化活動の大切さ、人と人が集い、学び合うことの尊さ、そこから生まれる活力を感じられた方も多かったのではないのでしょうか。

来年度は、第40回総合文化祭の開催、また1年遅れての尾道市文化協会40周年記念事業の実施を予定しております。例年よりも一層華やかな会にしたいと思っておりますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。



## 令和3年度 各部会での活動

当日の動画はこちらからご覧いただけます

尾道市 Youtube

再生リスト「尾道市民音楽芸能祭 2021」



10月30日(土)・31日(日)

### 第39回総合文化祭 尾道市民音楽芸能祭(音楽芸能部)

子どもから大人まで、市内で活動する文化芸術団体が一堂に会し、バレエや舞踊、吹奏楽や合唱などの華やかな舞台や演奏を繰り広げる『尾道市民音楽芸能祭』ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2(2020)年度は中止となったため、今年度は2年ぶりの開催となりました。ただし、感染対策のため、無観客での開催とし、後日ケーブルテレビやYouTubeで一部団体の舞台(演奏)を放送・掲載しました。

8月下旬から9月末にかけて広島県で「緊急事態宣言」が発令されていたため、直前まで練習ができない、先の状況が読めない中で、開催できないの

ではないかと不安もありましたが、出演者の皆様とできる限りの感染対策を考え、無事に当日を迎えることができました。

感染の波が来る度に、発表の場や練習の機会が奪われることにより、満身に活動できていない団体がほとんどです。出演者の皆様から「無観客でも、こういった発表の場があってよかった。」といった声がありましたが、その一方で「やはり、観客がいなくて寂しい。」という声も多くありました。来年度は多くの方に直接、会場で発表を観ただけのよう、会員の皆様と共に感染対策等を考えてまいりたいと思います。

#### 文化協会からの出演団体(プログラム掲載順)

Star Class / アロハ ローゼ ハウオリ 御調 / 撫子会 / 尾道吟剣詩舞道連盟 / 藤姿会・藤間紫壽衛 社中 / 舞憂会 / 鉄心流剣詩舞道 / 筑紫会 松岡社中 / 尾道コールあい / 尾道市民合唱団 / アンサンブル・カーノ / 歌の島混声合唱団 / 尾道女声合唱団 まどか / 尾道フラウエンコール / 尾道市吹奏楽団



11月10日(水)～14日(日)

### 第39回総合文化祭 尾道の美展(美術部、華道部、文化・文芸部)

『尾道の美展2021』は、尾道市民センターむかいしまにおいて、美術部、華道部、文化・文芸部の会員の皆様の作品の展示を行いました。

会場には、絵画、書、写真、短歌、陶芸、彫刻、手芸、華道など様々なジャンルから多くの作品が展示され、観覧されたお客様からは、「初めて来ましたが、楽しみとすごさを感じました。」「作品をみて心がおだやかになりました。」といった嬉しい声も聞かれました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、「お茶席」は中止となりましたが、「囲碁の広場」では、子どもの囲碁大会を開催し、19人の参加があったほか、参

加した児童や保護者が展示エリアにも訪れ、にぎやかな1日となりました。

作品を出展する会員の皆様においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、外出の機会が減り、創作活動が満足にできなかったことと思われまますが、この度の『尾道の美展』では、昨年度より出品数が増加しており、会員の皆様がコロナ禍でも文化・芸術活動を継続されていることを大変うれしく思います。

なお、出品数は189点(前年比+28点)、5日間の来場者数は1,075人(前年比+383人)となりました。

#### 出展団体(目録掲載順)

【美術部】(写真)全日本写真連盟尾道支部尾道写真クラブ / 向島写真クラブ / (彫刻・陶芸)尾道陶芸作家協会 / 因島吉田彫刻・陶芸 / 岡 孝博 / (手芸)永本手芸教室 / (日本画)尾道日本画協会 / (洋画・デザイン)尾道美術協会 / 因島美術 / 向島絵画部 / 御調洋画教室 / (書)柏樹会 / 桂交会 / 蒼風会 / 藤井 浩治 ※個人名は個人会員  
【華道部】(生け花)華道家元池坊尾道支部 / 華道家元池坊尾道山陽支部 / 小原流 / 閑淵流尾道支部 / 未生流 御調会 / 華道専正池坊  
【文化・文芸部】(短歌)御調町短歌教室

11月10日(水)～14日(日)

## 【中止】尾道小径散策 秋の茶会(茶道部)

尾道小径(こみち)散策秋の茶会2021は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむなく中止を決定いたしました。大勢のお客様をお迎えするお茶会では、対策を徹底することが難しく、皆様に安心してくつろいでいただくことができないと判断いたしました。現在も各流派のお茶会等を自粛している状況ですが、来年度は状況に応じて、工夫して開催できればと考えております。



3月25(金)発刊予定

## 文芸誌『尾道文化』(文化・文芸部)



A5判 162頁  
販売金額1,000円

取り扱い店舗

- 尾道市文化協会事務局
- 啓文社
- 友文館(瀬戸田町中野)
- なかた美術館
- シネマ尾道
- みつぎ道の駅
- 本因坊秀策囲碁記念館

『尾道文化』第40号を発刊いたしました。

節目の年にあたって、巻頭グラビアでは、1号から39号までの表紙をすべて振り返るとともに、尾道市文化協会発足以前に発行されていた、同名の別冊子“尾道文化”についてもご紹介しています。

会員の寄稿では、先日福山文学選奨・短編小説の部で最優秀賞を受賞された今井豊さんの小説のほか、尾道や御調の成り立ちの一端がわかる歴史評論、生活の実感がこもった味わい深い俳句、短歌な

ど、幅広い作品が掲載されています。

また、会員外からの寄稿では、大林宣彦監督作品を鉄道マニアの視点から捉えた随想や、市内浄泉寺で行う、フリージャズや即興音楽のイベント『大音無形コンサート』の取り組みについてなど、興味深い内容が投稿されています。

市内の書店や文化協会事務局で販売していますので、是非お手にとってご覧ください。

### 尾道文化第40号寄稿者

【会員外寄稿】寺杣 雅人／大谷 治／牧原 秀雄／嶋田 敦教／今治歌人クラブ

【会員】(評論)住貞 義量／小川 都弘／黒田 信二 (随想)平松 携／後藤 良雄／たや しほこ  
(現代詩)山口 美沙子／楽 廉太郎 (短歌)御調短歌教室／仲尾 修  
(俳句)しまなみ俳句会／銀漢俳句会／巫 依子  
(小説)清水 英子／中村 英子／今井 豊／西村 正登

## ちょっと振り返って

## 戦後の尾道 文化団体の歴史

昭和56年(1981)に尾道市文化協会が誕生してから、昨年で40年が経ちました。意外と短く感じられる活動期間ですが、実は文化協会ができるまでに、3つの団体が活動を行っていました。

### 昭和21年(1946)～「尾道文化研究会」発足

発起人：小林和作(画家)  
小野鐵之助(産婦人科医、後に初代文化協会会長)  
中井正一(美学者、評論家、尾道市立図書館館長)  
田坂寧邦(第15代尾道市長、当時は退任直後)

戦後間もない尾道で、プロの音楽家や演劇を招き、地方文化の育成を目指したのが「文研」こと尾道文化研究会でした。昭和24年には、庶務、文芸部、音楽部、演劇映画部、教育部、美術部、婦人部が発足し、各部会で催しを企画、開催していました。講演会「(石川)啄木を偲ぶ会」や、尾道東高校講堂に前進座を招いての「歌舞伎教室」などを開催していたことが、当時の新聞記事からわかっています。

また、「尾道文化」という機関紙を発刊、表紙絵は小林和作が描き、会員の随想や評論が掲載されていました。



会報誌「尾道文化」

### 昭和31年(1956)～「尾道文化連盟」発足

会長：田中稲穂(尾道短期大学学長)  
副会長：小林巖(市助役)、森信蔵(元文化財保護委員)  
発起人：森信蔵

「文研」の活動が中断していた昭和31年、「良い音楽を安く聴く」をキャッチフレーズに、新しく結成されたのが尾道文化連盟(文連)でした。月一回、例会を開催し、プロの音楽家、オペラや演劇公演を招聘したり、会員による演劇の自主公演を行ったりしていました。

例会は好評で、一時は2,000人を超える会員が所属していましたが、テレビなど他の娯楽の普及によるものか、昭和30年代後半には会員が700人にまで落ち込み、赤字を抱えるようになりました。



自主公演台本「はる・あき」

### 昭和39年(1964)～「勤労者音楽協議会」発足

尾道文化連盟は赤字を解消、事業内容の拡大や役員の変更を行い、再出発を図りましたが、昭和38年にはその活動が途絶えてしまいます。この後、市民の音楽鑑賞の機会の確保を担ったのが、勤労者音楽協議会(労音)でした。勤労者音楽協議会は、1960年代半ばに全国的に広がった音楽鑑賞団体です。文連同様「良い音楽を安く」がモットーで、尾道では、バレエやクラシック音楽の演奏会、歌謡曲のコンサートなど、クラシックからポピュラーまで、幅広い音楽ジャンルの鑑賞会が開催されました。

市民が発起人となり、主に鑑賞の機会を確保していったことが伺えます。この後、昭和56年に、尾道市文化協会が生まれることになります。

※上記の文研、文連、協議会について、情報をお持ちの方は事務局までお寄せいただけますと幸いです。

## 令和3年度 各地区での活動

10月30日(土)・31日(日)

### 【中止】 瀬戸田地区文化祭

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、例年は美術作品の展示を瀬戸田市民会館・瀬戸田小学校体育館で、音楽芸能発表をベル・カントホールで行っています。2日間で1,000名を超える人たちに出演・観覧いただく文化祭は、日ごろの作品作りや練習の励みになっています。来年はぜひ開催したいと思います。



例年の地区文化祭の様子

1月23日(日)

### 【中止】 御調地区文化祭

コロナ禍で練習の場所が限られたり、そもそも練習自体していいのか悩んだり、やりたいのにできないという葛藤……中止も開催直前まで悩んでの決断でした。

活動しにくい状況が長引く中、地区の中で声を掛け合い、励まし合い、支え合って開催を目指してきました。中止にはなりましたが、へこまず沈まず、前向き思考で、来年度「続けてきてよかった」「頑張ってきてよかった」と思えるよう、今後も練習や開催の準備に取り組んでいきたいと思えます。



例年の地区文化祭の様子

1月30日(日)、2月11日(金・祝)～13日(日)

### 【中止】 因島地区文化祭

因島邦楽祭、音楽祭、囲碁フェスティバル、将棋フェスティバル、美術展と、幅広い分野が協力して、年に1度の文化祭を成功させようと張り切って準備していました。感染対策も万端に整えていましたが、9月末まで続いた緊急事態宣言の影響により2月に延期、その延期した2月も、再度の感染拡大により中止せざるを得ませんでした。2年続けての中止となりましたが、来年度こそは地区文化祭を開催し、地域の皆が集って楽しむ時間を持ちたいと思えます。



地区文化祭パンフレット  
デザイン: 東 嘉美 (因島美術)

3月15日(火) 発刊

## 文芸誌『御調文学』第56号

随筆、短歌、平和メッセージ、郷土研究などのほか、「東京オリンピックのテレビ観戦記」と「コロナ禍を楽しく生きる」の2つを特集テーマとしました。「コロナ禍を楽しく生きる」では、御調中・御調中央小の生徒、児童による俳句も掲載されています。グラビアは神田神社(市地区)及び良神社(大蔵地区)の改築と、全国大会で栄冠に輝いた男子ソフトボール部の特集(御調中学校準優勝、御調高校第3位)です。表紙は御調出身の彫刻家 圓鏝勝三さんの作品「聖徳太子像」です。



第56号表紙

## けんみん文化祭

### けんみん文化祭'21 ミュージックフェスティバル

10月3日(日)にしまなみ交流館で開催予定だった「けんみん文化祭ひろしま'21ミュージックフェスティバル」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、出場予定団体の過半数が出場を辞退したため、中止となりました。

他地域で開催されたけんみん文化祭については、「吟詠剣詩舞の祭典」に参加した鉄心流剣詩舞道が優秀団体へ選出、また、「大正琴・新舞踊の祭典」に参加した撫子会は、最優秀団体へ選ばれました。受賞おめでとうございます!

### けんみん文化祭 尾三地区フェスティバル

2022年2月～3月に三原市・竹原市・世羅町で開催予定だった「けんみん文化祭 尾三地区フェスティバル」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となりました。来年度のけんみん文化祭への推薦方法については、参加を予定されていた団体の皆様に、後日郵送でご連絡いたします。

10月24日(日)

### 高校生おのみち演劇祭

10月24日(日)、しまなみ交流館で「第19回高校生おのみち演劇祭」を開催しました。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、非公開)

本大会は広島県高等学校総合演劇大会尾三地区予選を兼ねており、参加5校(尾道北高校、尾道高校、三原高校全日制、三原高校定時制、三原東高校)による白熱した演劇公演が繰り広げられました。

最優秀賞の尾道高校は、観客を引き込むテンポの良いお芝居で、県大会でも第3席とたいへん健闘しました。

どの学校も来年の好演が期待できる熱演でした!

予約不要、入場無料ですので、ぜひ今年の10月23日(日)はしまなみ交流館にお越しいただき、高校演劇をお楽しみください。



三原高校定時制「送り火」



三原東高校「タダイマ」



👑 最優秀賞 尾道高校  
「ぜんしん!!」



👑 優秀賞 三原高校全日制  
「鬼捕れ夜叉捕れ」



👑 創作脚本賞 尾道北高校  
「少年少女のアルストロメリア」

## 会員活動紹介

### 撫子会

荒城の月



吟詠剣詩舞を3人で、頑張って練習しています。

### びんごフルーツアンサンブル

原田文化交流館「やまそら」で『森の音楽会』



コロナ禍で思うように集まって活動が出来ませんが、原田文化交流館での『もりの音楽会』は続けています。今は5月開催に向けて練習中です。

### 尾道コールあい & 歌の島混声合唱団

THANKSGIVING CONCERT



40年の活動の集大成としてのコンサートが、11月28日奇跡的にコロナ禍の小康状態の中、大盛況のうちに開催することが出来ました。

### 舞憂会

祝いづくし



傘踊りを6人力合わせて、がんばっています。

### (社)日本尺八連盟 尾道聖琳会

この度は、コロナウイルスの影響で全ての催しは、キャンセルとなりました。早い回復を願っております。

## 会員活動紹介

### 鉄心流剣詩舞道

集まって発表会をした



「まん延防止策等重点措置」で、けんみん文化祭尾三地区フェスティバル中止、全国群舞コンクール決勝大会出場辞退等のため、無観客で発表会をしました。

### アロハローゼ ハウオリ 御調

フラダンス フェスティバル イン 和歌山



11月13日(土)和歌山県田辺市で開催された、第36回国民文化祭・わかやま2021に参加しました。

## 尾道フラウエンコール

市民音楽芸能祭に出場



「平田あゆみ小品集」より「おたまじゃくしのかあさんだあれ」「おやすみなさい」「みいちゃった」を歌いました。

## 尾道女声合唱団まどか

本年は新型コロナまん延防止策により、練習会場の確保もままならず、時には少人数に別れて30分程の練習でも声を合わせられることに満足していました。

## Star Class

市民音楽芸能祭2021にて「月光」の踊り



尾道市内3歳~大人まで、バレエのおけいこをしています。クラシックからコンテンポラリー、新体操まで幅広く楽しんでいます。

## 会員作品紹介



①



②



③



④



⑦



⑤



⑥

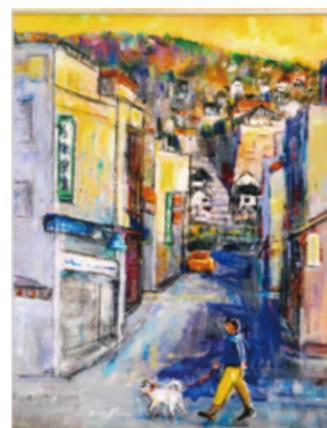


⑧

### 題名/作者/ひとこと

- ①「無骨な男」(陶芸)/因島吉田彫刻 柏原 陽子  
味わい深い顔を表現したく、無我夢中で作りしました。
- ②「無題」(生け花)/未生流御調会 竹森 昭甫  
色彩盛り花は花材の取り合わせが難しい。野イバラの枝とグロリオサの色と形の面白さでいけてみました。
- ③「紅葉つつじ」(生け花)/閑淵流尾道支部 島崎 梢雪  
秋のつつじを生けて、ハランアルストロメリアは年中あるのでつつじを主材にしました。
- ④「春待ち」(生け花)/華道専正池坊 廿日出 錦水  
春になると陽差しが明るくなり心まで弾んできます。そんな思いを花に託して生けてみました。
- ⑤「吉春」(生け花)/小原流 間江 豊規  
良い運気が訪れますように、縁起の良い取り合わせで、万年青、梅、菊、水仙、椿を琳派調いけばなで生けています。
- ⑥「水仙一色 立花」(生け花)/華道家元池坊尾道支部 島谷 文江  
水仙の葉は針金を通して色々な曲線を作る事が出来ます。コロナ禍が早く収まる事を願いながら取り組みました。
- ⑦「お花見」(生け花)/尾道各流華道協会 高山 智子  
新型コロナウイルスの感染者が多く心配な毎日です。早く皆で花見を楽しむ時が来るように、願っています。
- ⑧「激流」(写真)/尾道写真クラブ 平川 龍彦  
四国吉野川の渓谷大歩危峡でラフティングの撮影中バランスを失ったボートの1人が落水、浮び上がった時の写真です。

## 会員作品紹介



⑨



⑩



⑪



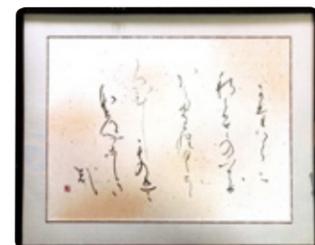
⑫



⑬



⑭



⑯



⑰

### 題名/作者/ひとこと

- ⑨「渡し場通り・朝」(油彩画)/尾道美術協会 岡本 萩子  
向島で育った私にはフェリーから降りたらまずこの風景。周辺の建物は新しくても懐かしい心の風景です。
- ⑩「踏切」(油彩画)/尾道美術協会 濱本 和信  
尾道は海と山が接近してその間に寺、鉄道、国道、町があり寺に向かう坂道、日本遺産に選ばれた歴史ある町。
- ⑪「鳥華」(日本画)/尾道画日本画協会 渡辺 里美  
コロナ禍の中、明るく元気の出る絵を見ていたくて描きました。あざやかな色を使ってみました。
- ⑫「祝婚歌」(水彩画)/因島美術協会 山崎 尚美  
花嫁の親になるという幸いに恵まれました。描いておこうと思いたち描きました。ウサギが可愛いでしょ。
- ⑬「君子千里同風図」(水墨画)/水墨画瀬戸田教室 岡野 美峰  
四君子の梅竹蘭菊を岩場に集めてみました。墨の濃淡だけで強さや優しさ等を表現する苦労や面白さがあります。
- ⑭「長楽萬年」(書)/桂交会 吉原 茜雅  
限られた紙面にバランス良く納まるよう蔵鋒を使って筆圧の変化をつけて隷書に挑戦しました。
- ⑮「聊か以て吾素に適う」(書)/柏樹会 河野 圭扇  
この漢詩の意味が気に入ったので、書きました。
- ⑯「秋草の花」(書)/蒼風会 井上 すみ子  
中字の横書作品で作品が大きく見えるようゆったりとした配置と字を心がけ、穏やかな秋の歌を表現しました。

# 令和3(2021)年 会員行事

月	日	事業名	会場等	主催
1	17~24	尾道写真クラブ展	尾道市立大学サテライトスタジオ	全日本写真連盟尾道支部 尾道写真クラブ
7	4	【中止】尾道市吹奏楽団第28回演奏会	しまなみ交流館	尾道市吹奏楽団
10	8~12	2021年 創立87周年記念尾道美術協会 大作展	尾道市民センターむかいしま 1階ロビー	尾道美術協会
11	21	「第72回」尾道吟剣詩舞道大会	尾道市御調文化会館	尾道吟剣詩舞道連盟
11	28	尾道コールあい・歌の島混声合唱団 THANKSGIVINGコンサート	しまなみ交流館	歌の島混声合唱団

※行事は文化協会に後援申請されたもの

## 文化協会のHP、Facebookができました！



尾道市のホームページ内に、尾道市文化協会のページを作成しました。

1年間の行事のお知らせや、過去の活動の様子をご紹介します。

また、会報誌のバックナンバー(3年分)や、尾道市文化協会の諸様式(後援申請書など)も掲載していますので、会員の皆様にご利用いただけます。

Facebookでは、文化振興課が実施するイベント情報をご紹介します。文化協会の行事だけでなく、学芸員による文化財講座や、しまなみ交流館での音楽イベントなども掲載しますので、イベント情報を見逃したくない方におすすめです。

ぜひ右側のQRコードからアクセスして、ブックマークやいいね！をお願いします！ご友人知人の方にもぜひお知らせください。

文化協会ホームページ



検索：尾道市文化協会

文化振興課 Facebook



検索：尾道市文化振興課 Facebook

## 編集後記

皆様に読みたい、読みやすいと感じていただけよう、体裁を変更してみました。いかがでしたでしょうか。ご意見、ご感想、取り上げてほしい事柄など、ぜひ事務局までお寄せください。

### 尾道市文化協会会報「海からの風 山からの風」第27号

発行/令和4(2022)年3月28日

発行所/尾道市文化協会 尾道市久保一丁目15-1

尾道市企画財政部文化振興課内

TEL(0848)20-7514 FAX(0848)37-2377

E-mail: bunka@city.onomichi.hiroshima.jp